

農家と農業委員会をむすぶ

あきたし

農委だより

第66号 (令和3年4月1日)

編集 発行 秋田市農業委員会
住所 〒010-8560
秋田市山王一丁目1-1
TEL (018) 888-5796
FAX (018) 888-5797

上北手 松本さんの牛舎にて
名前は「まつはな」



本年度もよろしく
お願いいたします



秋田市農業委員会

会長 佐々木 吉 秋

令和3年度を迎え、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、当委員会の業務運営に対しまして、日頃より特段のご指導、ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、7月下旬の大雨により、西部から雄和地区にかけて農作物や農業用施設等に被害が発生しましたが、以降は概ね天候に恵まれ、稲作においては「やや良」の豊作となりました。一方、年々米の需要が減少しているのに加えて、コロナ禍の影響で外食需要が落ち込んだことから、米価の下落が心配されるとともに、令和3年度の主食米の減産も決定されました。さらには今冬の豪雪により農業施設に大きな被害も発生しております。

そのような中、当委員会では、農家の方々が将来に明るい展望を持てるよう、これまで以上に日々の活動を通して情報提供に努め、国等行政機関に働きかけや情報収集を行っていく所存であります。

新型コロナウイルスも相変わらず猛威をふるっておりますので、くれぐれもお体にご留意ください。

今年度も皆様とともに頑張つてまいりますので、よろしくお願い申し上げます、あいさついたします。

秋田市農業委員会 農業委員・推進委員・事務局職員一同

会長

佐々木 吉 秋

会長職務代理者

鈴木 昇

農業委員

佐々木 英久

武藤 真作

関 正美

星 容子

相場 堅一

佐々木 繁明

安田 友一

白岩 勝

柴田 ますみ

鎌田 悦雄

佐々木 和昭

齊藤 善彦

藤田 修

加藤 淳

三浦 宏和

伊藤 洋文

(議席順)

加賀屋 慎一

菅原 豊志

鈴木 仁司

足利 俊博

藤島 岳洋

鎌田 文市

佐々木 聖爾

石井 健

酒井 慶一

佐々木 孝司

吉田 孝司

佐々木 晃

齊藤 又右衛門

推進委員

藤嶋 卓也

鎌田 一

伊藤 貞美

保坂 正真

中嶋 庄悦

加賀谷 誠咲

萩原 豊

鎌田 重憲

熊谷 裕幸

鈴木 英弘

平川 秀悦

伊藤 由和

加藤 哲実

鈴木 栄一

堀井 喜一

佐藤 公誠

鎌田 一美

菅原 豊志

鈴木 仁司

足利 俊博

藤島 岳洋

鎌田 文市

佐々木 聖爾

石井 健

酒井 慶一

佐々木 孝司

吉田 孝司

佐々木 晃

齊藤 又右衛門

秋田市農業委員会ホームページ <http://www.city.akita.lg.jp/shisei/iinkai/1009648/index.html>



農地利用最適化を目指して

秋田市農業委員会の主要な活動について紹介します

■ 農業者年金業務 ■

農業者年金にかかる管理業務、各種相談対応、年金制度の周知



窓口での手続き

■ 地域農業活性化の推進 ■

近代的農業経営の確立を目指す農業者の育成を支援

- ◆ 農業簿記講座の開催
- ◆ 家族経営協定の締結



農業簿記講座（応用編）の受講風景

■ 農地利用最適化の推進 ■

遊休農地の調査や発生防止、担い手への農地の集積を推進

- ◆ 農地パトロール等



農地パトロールの様子

■ 農業委員会総会の開催 ■

農地法に基づく農地の権利移動の許可等の許認可、農地の保全



令和3年第2回農業委員会総会

■ 意見・要望活動 ■

市農業政策や農地等の利用の最適化の推進に関する意見・要望活動



穂積市長（写真左）へ佐々木会長（右）が要望書を提出

■ 農業委員会業務広報 ■

農業情勢や委員会業務等について、情報を農家へ提供

- ◆ 活き活き農業専科開催
- ◆ 農業活性化フォーラム開催
- ◆ 農委だより発行



これまでの「あきたし農委だより」

第3回

委員紹介コーナー



農地利用最適化推進委員
吉田 孝司

今号では、大正寺地区を担当する農地利用最適化推進委員であり、農地利用最適化委員会副委員長でもある吉田孝司推進委員の日々の活動をご紹介します。

私の担当地区は秋田市の南、旧雄和町で雄物川の上流に位置した大正寺地区です。大仙市に隣接し、秋田市でも数少ない「中山間地域」に位置づけられています。

私は四年前に農地利用最適化推進委員に推薦されました。当時はまだ現役の農協職員でしたが、現在は退職し、法人の構成員としてバリバリの農家です。大正寺地区は農協の営農指導員としての最初の赴任地であり、この地に何らかの恩返しをしたいという思いから、私なりに取り組んでいるところです。

任命当初から、いろいろな相談を受けましたが、自分の代で離農を考えている人が非常に多く、また、一部では離農による遊休農地が目立つようになってきています。この問題に対して、まず私が取り組んだのは耕作者探しです。同時に中間管理機構を利用した集積・集約化も進めました。その中で、意外と相続登記がされていないことも多く、その手続きに苦労しました。また、お互いが現場に立ち会うことも、契約締結には重要です。冬期間や雨の場合でも、タブレット端末を使って確認をとっています。

中山間地での農地集積・集約化は非常に難しいですが、様々な制度を活用しながら、お互いが納得できる契約が結べるよう今後も活動していきたいと思っています。

——いま耕作されている農地を、
耕せる人へ、耕せるうちにつなぐ

新規就農研修生取材記録

秋田市農委だよりでは、「今の時代に農業に携わろうとする人はどんな人なのか？」をテーマに、第63号（令和元年10月発行）から継続して2人の新規就農研修生の入学から修了までを特集してきました。

今号は3月に研修を修了する2人にこれまでの研修の思い出や、将来への意気込みなどについてお話を伺いました。

研修生のプロフィール

さ さ き みつる
佐々木 充 さん

水稻栽培のほかに野菜や花きを取り入れようと受講。研修ではトマト栽培に取り組んだ。

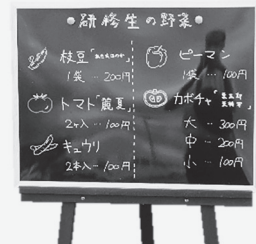
み う ら ひ さ こ
三浦 桐子 さん

前職は美容師。ヘアメイクにも使えるような日持ちする花きを作りたい。研修ではダリアを選択。



園芸振興センター

開
放
DAY



令和2年9月13日に園芸振興センターを市民に開放するイベントが開催されました。イベント当日は、多くの方が訪れ、研修で作った野菜を買い求めていました。



佐々木 充 さんの思い出

私は施設を使ってトマト栽培に取り組んでいて、開放デーでは収穫したトマトを直接販売しました。あつという間に完売したのがとても印象的でした。



センターを訪れた市民の方に、研修で作った野菜を販売する佐々木さん

2年間の研修を終えて

将来への意気込みを教えてください。

佐々木さん：私は、修了後、親の農業経営を継承し、水稻と野菜園芸の複合経営を行います。直売所やインショップなどをメインに出荷し、新鮮で食味が良い野菜を提供していきたいです。前職のパン製造の技術を活かした加工品の製造、販売もチャレンジしていきたいです。

三浦さん：親元就農という形で夫の農地でダリアの栽培をします。将来的には、加工品の開発と販売も考えています。

――研修中、新型コロナウイルスの感染症拡大もありましたが、自身の農業に対する考え方などに影響がありましたか。

佐々木さん：農業に対する考え方に大きな変化はありませんが、免疫力を高める野菜や栄養価が高い品種の栽培を考えるようになりました。

三浦さん：コロナ禍でもお花を必要としてくれている方がたくさんいることを知りました。農協の方々が必要になつて販路を探してくれたことにも感謝しています。私にできることは高品質のダリアを一生懸命栽培することです。

――農委だよりを読まれる先輩農家さんに一言お願いします。

佐々木さん：2年間の研修を終えて、今年度から新規就農者となりました。まだまだ分からないことも多くありますのでご指導、ご鞭撻をよろしく願います。

三浦さん：センターで2年間学んできましたが、まだまだ分からないことや不安なことがたくさんあります。アドバイスをありがとうございました、よろしく願います！



農業機械研修の様子

Pick up

令和2年度農業委員会活動記録

農地パトロール
(利用状況調査)
を実施しました



令和2年8月～9月

8月24日から9月1日まで、市内全5区域で農地パトロール(利用状況調査)を実施しました。農地パトロールではタブレット型端末を活用し、遊休農地の位置特定および現況写真の撮影などを行いました。
(写真：農地パトロールの様子)

令和2年11月～令和3年1月

新たに発見された遊休農地について、農業委員および推進委員が所有者に対して利用意向調査を実施しました。

今後の流れ

農地パトロールおよび利用意向調査の結果を踏まえ、これらの遊休農地を農地として活用していくための方策について、地元農家や関係機関と連携して調整していきます。

意見・要望活動



10月8日、秋田市農業委員会から穂積市長へ令和3年度秋田市農業施策等に対する要望書を提出しました。本要望書は、農業者の皆様からいただいた意見や要望を集約し、農業委員会総会において協議の上、決定したものです。要望書に対する回答はHPへ掲載しています。

(写真：穂積市長と、委員会を代表して要望書を提出した農業委員)



【市への要望事項】

- 1 担い手等の確保・育成について
 - (1) 人・農地プランの実質化に向けた支援について
 - (2) 新規就農者のサポート体制の整備について
 - (3) 農業法人経営者の育成支援について
- 2 農業生産基盤の整備促進について
 - (1) ほ場および基幹施設の整備について
 - (2) 農業機械の導入経費の支援について
 - (3) 老朽化した収穫調整施設の維持・更新について
 - (4) 令和3年度市単独土地改良事業の推進について
- 3 米政策について
 - (1) 米の消費拡大について
 - (2) 産地交付金の交付要件について
- 4 地産地消の推進について
- 5 農業委員会の体制強化について

秋田市農業大賞表彰事業① 秋田市農業大賞

令和3年2月4日、秋田ビューホテルで表彰式を開催しました。
秋田市農業委員会では、毎年、市内農業関係機関とともに、地域産業の担い手として農業の発展に貢献している個人または団体を表彰しています。
今年度は、4個人・2団体が選出され、農事組合法人アグリあいかわ(雄和)が秋田市農業大賞を受賞しました。

農業大賞

農事組合法人
アグリあいかわ

農業賞

〔経営体部門〕

柏谷 武嗣 様
藤田 静雄 様

〔若手農業者部門〕

柴田 秀俊 様

〔地域活性化部門〕

佐藤 重博 様
新城川土地改良区

(写真：秋田市農業大賞・農業賞受賞者および永年勤続農政協力員のみなさん)



秋田市農業大賞表彰事業②

農政協力員
永年勤続表彰受賞者

このたび、10年以上農政協力を勤めた12名が、長年にわたりご尽力された功績により表彰されました。

農政協力員とは、農業委員会活動の運営を補助していただいている方たちです。広報紙や農政関係書類等の配付や回収のほか、秋田市で行う転作現地案内などの業務を行っています。

伊藤 敏道様(飯島)
佐々木 米光様(〃)
鈴木 金吉様(上北手)
熊谷 昇作様(〃)
井川 良洋様(下北手)
渋谷 幸和様(牛島・川尻)
鈴木 喜昭様(豊岩)
富樫 欽也様(寺内)
水澤 慶一様(金足・下新城)
奈良 裕哉様(〃)
長谷川 清仁様(川添)
伊藤 巧一様(種平)

秋田市農業大賞表彰事業③

農業子ども絵画コンクール

農業子ども絵画コンクールで入賞した10作品を表彰しました。

この事業は、小学生にも農業に関心を持ち、理解を深めてもらうことを目的に開催しています。作品テーマは「農業」、今年度は市内18小学校から456点の応募がありました。農村風景や、収穫物の絵のほか、稲刈り授業の様子や、トラクターの中から見た景色など力作揃いでした。全応募作品は、1月28日から2月2日まで秋田市文化会館展示ホールで展示されました。

たくさんのご応募
ありがとうございました！



作品展示会の様子

最優秀賞

“おいしいお米になれ”
大山 瑛愛さん(桜小4年)

審査員コメント

・農村風景が素直に表れている
・田植えた場所は水が濁り、まだの部分はきれいななど、よく観察して描いている
・水の流れやトラクターの動き、奥行きのある風景などがリアルですばらしい



優秀賞

“秋田新幹線「こまち」と「あきたこまち」”
高橋 嘉礼歩さん(明徳小5年)

審査員コメント

・新幹線と稲穂が良くマッチングしている
・「こまち」でかけているのがおもしろい
・未来感があリ、明るい感じがして良い



特別賞



“おやさいだいすき”
長谷川 稀玲さん(広面小1年)



“いねの絵”
嵯峨 連さん(大住小2年)



“かばちやが二つてきたよ”
渡邊 実央さん(飯島南小3年)



“きゅうりをしゅうかくするおじいちゃん”
佐藤 春さん(飯島南小5年)



“おやさいいっぱい
おいしいなあれおきくなあれ”
大谷 華子さん(飯島小2年)



“ぬくのがむずかしかったよ”
本川 東夏さん(飯島南小1年)



“トラクターの中から見たキャベツ畑”
木元 陽彩さん(外旭川小5年)



“新しいお米ができたよ”
三國谷 咲月さん(土崎小6年)

区域部会活動紹介



Q 区域部会ってなに？

農業委員会では市内を5区域に分け、区域部会を設置しており、農業委員・推進委員全員が、いずれかの区域に所属しています。毎月1回、区域で集まって、地域の様子や課題などを話し合います。話し合いの内容は総会で報告し、委員会全体でも共有を図ります。

Q どんな活動をしているの？

- 遊休農地の現状の確認、報告
- 地域の新規参入者の情報共有
- 農業者との相談および支援
- 総会の審議案件に関わる現地確認報告の調整
- 中間管理機構と農家の橋渡し

(写真…区域部会報告会の様子)

区域部会報告会

お互いの日常活動の参考とするため、令和2年12月18日に、各区域部会の活動事例報告会を行いました。穂積市長、岩谷市議会議長、新出産業振興部部長にご列席いただきました。

報告内容

第1区域

草刈りによって遊休農地を解消した事例について 等

第2区域

- ◆ 地域の新規就農者の紹介
- ◆ 新規就農者への相談対応・支援についての方針 等

第3区域

- ◆ 人・農地プランから始まった、朝市による地域活性化
- ◆ 担い手不足問題の解決に向けた提言 等

第4区域

- ◆ 若手農業者（無農薬農家）への農地あっせん事例
- ◆ 希望者が無農薬栽培を続けられるための方策 等

第5区域

農地中間管理事業を活用した遊休農地解消事例の紹介 等

農業簿記講座

入門編：令和2年12月7日～8日
応用編：令和3年2月12日

■ レポーター＝
白岩 勝 農業委員



主な内容

○パソコン農業簿記講習

講師：ソリマチ（株）職員
「ソフトを使用した基本操作の演習」
「パソコン農業簿記の基本」
「データを用いた簿記記帳」など

○税理士による講話

講師：税理士
（農業経営改善コンサルタント）
「青色申告のすすめと手続等について」
「簿記記帳の実務と確定申告のポイント」

農業委員会では毎年、経営能力アップのためのパソコン農業簿記講座を開催しております。今年は全日程3日間で、延べ37名の認定農業者および若手農業者の皆さんが受講しました。

参加してみてもいい

今回、2日間の入門編を受講しました。講座では、ソリマチ（株）講師より簿記ソフトの使い方、帳簿の作成演習を、税理士より青色申告のメリット、申告のポイントを学習しました。

私自身、青色申告者ですが、複式簿記の記帳、作成や確定申告には携わっていなかったもので、今回の講座で税制改正のポイントや、帳簿データ入力時の注意点等を学習できて大変役に立ちました。皆さんも青色申告で節税を。

青色申告のメリット

自身の経営収支を客観的に見直せるだけでなく、収入保険制度の加入要件となっているほか、65万円（または10万円）の特別控除を受けられるなどの節税効果があります。

／ 予 告 ／

令和3年度の開催については、10月～11月頃に広報あきたやHP等でお知らせします。

Information

◇ 令和3年度農作業標準受委託料 ◇

作 業 種 別		料 金 (円)		備 考
春 作 業	水田耕起	10 a 当	6,000	オペレータの1人作業
	水田かき	10 a 当	6,600	オペレータの1人作業
	田 植	機械植え	10 a 当	6,500 苗は含まない オペレータと補助労働者の組作業
		側条機械植え	10 a 当	7,600 苗は含まない オペレータと補助労働者の組作業
秋 作 業	脱刈 穀取	コンバイン	10 a 当	18,600 籾運搬費(2,500円)を含む オペレータと補助労働者の組作業
	乾 燥 調 製	生乾燥	10 a 当	7,400 籾の投入・排出・見回りとする
		補助乾燥	10 a 当	5,000 籾の投入・排出・見回りとする
		もみすり	60kg 当	500 紙袋は含まず、オペレータと補助労働者の組作業
薬 劑 散 布	粉・粒剤(長管)	10 a 当	800	畦畔からの散布 薬剤は含まない
	粉・粒剤(短管)	10 a 当	1,500	水田の中からの散布 薬剤は含まない
	乳剤	10 a 当	1,100	薬剤は含まない
あぜ塗り		100m 当	4,500	1 m 当り 45 円
草刈り		10 a 当	1,800	畦畔及び溝畔部分
溝切り		10 a 当	1,800	縦 4 本・横 2 本
一般作業		1 日 当	7,500	男女共

【注意事項】

- 1：この料金は、一般的な10 a ほ場条件のもとに算定した標準額を示したものです。50 a 区画以上のほ場での基幹3作業(耕起および代かき、田植、コンバイン)については、上記標準料金の90%とします。
- 2：労働時間は、原則として1日8時間としています。
- 3：「賄い」その他現物支給は含まれておりません。
また、委託者が補助的に作業出役をしないものとします。
- 4：「手植え」「手刈り」については、一般作業に含まれます。
- 5：この料金に、消費税は含まれておりません。
- 6：この料金はあくまでも目安なので、料金設定は地域の実情に応じて決めてください。

◇ 秋田市賃借料情報 ◇

令和2年1月から12月までに秋田市で締結された賃借権(田)における賃借料(10 a あたり)の情報です。料金設定の際の参考にご活用ください。

第1区域(北部地区)

地 区 名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
飯 島	7,769	10,000	5,000	73
上 新 城	6,575	8,000	4,200	56
土 崎	データなし			
金 足	9,388	12,100	7,000	1,002
下 新 城	8,876	12,302	5,000	167
区域平均額	9,110			

第2区域(東部地区)

地 区 名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
旭 川	データなし			
外 旭 川	8,120	9,000	7,000	75
広 山 田	11,375	12,000	5,000	24
太 平	8,992	13,500	6,050	37
下 北 手	5,129	7,000	3,428	21
区域平均額	8,423			

第3区域(南西部地区)

地 区 名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
四 ツ 小 屋	3,000	3,000	3,000	2
豊 岩	11,682	18,150	5,100	42
下 浜	データなし			
新 屋・浜 田	データなし			
仁 井 田	6,349	7,500	6,050	94
上 北 手	6,016	7,000	2,500	51
区域平均額	7,409			

第4区域(河辺地区)

地 区 名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
岩 見 三 内	5,992	10,000	5,000	63
和 田	6,404	10,083	4,033	181
豊 島	5,901	10,000	3,000	187
区域平均額	6,126			

第5区域(雄和地区)

地 区 名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
川 添	12,525	15,000	7,000	16
種 平	10,250	12,000	10,000	8
戸 米 川	7,597	12,100	5,000	59
大 正 寺	6,227	8,000	3,774	63
区域平均額	7,691			

秋 田 市 平 均 額	8,244円
-------------	--------

- ※1：データ数は、各地区の平均額算出に用いた筆数です。
- ※2：区域平均額および秋田市平均額は、データ数を加重平均したものです。
- ※3：物納については、12,100円/60kgで換算しています。

忘れていませんか？手続きが必要です

農業に関する困りごとや地域の諸課題などは、お近くの農業委員・農地利用最適化推進委員へお気軽にご相談ください。

農地を農地以外の地目にするとき

【農地転用とは？】

農地に住宅等の建物を建てたり、駐車場や資材置き場など**農地以外にすること**です。

【転用するためには】

転用を行う、または転用のために権利の移転（売買・貸借等）を行う場合は、**農業委員会の許可が必要**です。

また、転用したくてもできない土地がありますので、詳しくは農業委員会事務局へ直接ご相談ください。

農地を相続したとき

相続または時効取得などにより、農地の権利を取得した場合は、農地のある市町村の**農業委員会へ届出が必要**です。

農地を売買・貸し借りするとき

農地を耕作目的で売買したり、貸し借りをするときは**農業委員会の許可が必要**です。なお、資産保有や投資目的の売買はできません。

また、農地を取得する**適格者**（申請農地を含み、10a以上耕作）でない場合は許可されません。

編集後記



さて、今回、当委員会から秋田市農業大賞経営体部門に推薦した柏谷武嗣様についてご紹介します。

柏谷様は稲作の大規模経営を実践し、高い栽培技術で安定した収穫量、販売額を継続している地域農業を担うリーダー的存在です。

また、地元下新城小学校では「田んぼの先生」となっており、小学生たちに田植えや稲刈りなどの授業を行い、農業の魅力や楽しさを伝えるなど、地域に貢献しています。今後も一層のご活躍をお祈りしております。

最後に、この度「農委だより」の編集にあたりまして、ご協力いただきました皆様に、厚くお礼申し上げます。

（農業委員 加藤 淳）

今期から農業委員になりました。まだ分からないことばかりですが、できることから一つ一つ頑張っていきたいと思っています。

秋田市 フォトだより



昨年10月に取材した際の直売会の様子。新鮮な地元野菜が「売り」

あきたし農委だより第55号（平成27年10月1日発行）で紹介した仁井田大野地区の直売会の「今」取材してきました！

活動開始から6年目となった現在も元気に続いており、町内の憩いの場として、毎週楽しみにしている方も多いそうです。



お申し込み、お問い合わせは
JAもしくは
農業委員会へ

加入要件はたったこれだけ！

- ☑ 60歳未満
- ☑ 国民年金1号被保険者
- ☑ 年間60日以上農業に従事

多くのメリットが！

- ① 終身年金で80歳までの保証付き
- ② 支払う保険料は全額社会保険料控除の対象
- ③ 保険料国庫補助による手厚い支援

配偶者や後継者
などご家族も
加入OK！



全国農業新聞は、農業および農政の現状を中心に農業者の経営とくらしに役立つ情報をお届けします。

- ・発行日……………毎週金曜日
- ・購読料……………700円／1か月（送料、税込み）

秋田市農業委員会事務局 ☎888-5796